

# マルセイニュース 1月号

発行日 2015/1/22

株式会社 マルセイ  
浦河町東町うしお1丁目

〒057-0005 TEL 0146-22-5123



1月2日(金)、『騎馬参拝』が西舎神社にて行われました。馬産振興と無病息災を祈願して明治43年から続けられている場産地浦河の新春恒例行事です。



## 2015年も、良い年にしましょう!

輝く一年で  
ありますように

穏やかな天気にも恵まれたお正月でした。いかがお過ごしでしたか。  
106回目の騎馬参拝は、歴史ある恒例行事を一目見ようと  
たくさんの方の見学者で賑わっていたそうです。参拝後の“餅まき”も大賑わいだったようです。

ご成人おめでとうございます。  
成人式の華やかな記念写真を見て、こんなにたくさんの方々が  
平和に成人を迎えられたことを改めてうれしく思いました。  
新成人はもちろんのこと、みなさんにとって良い年でありますように!

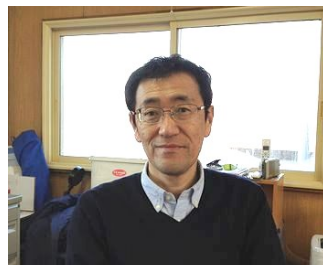


1月11日(日)。浦河町総合文化会館にて、平成27年浦河町成人式が開かれました。晴れ着に身を包んだ、新成人111名の華やかな姿です。





# 今年もよろしくお願ひいたします！



おかげさまで、無事に新しい年を迎えることができました。改めて、日頃のご利用とご支援に心からお礼申し上げます。ありがとうございます。今年も地道にとり組んでいく所存ですので、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

わたしがこの会社に入ったとき、灯油は1リットル30円台でした。まもなく第2次オイルショックがあり、数ヶ月で90円台まで売値が跳ね上がり「一百円灯油の時代が来た」と騒がれたものでした。30年以上前の出来事です。以降、2度の大きな価格変動がありました。湾岸戦争時と、リーマンショック後です。昨年末からの原油価格の変動は、それに匹敵するくらいの暴落です。「油は高値で安定。昔みたいに安くなることはまずない。」というのが通説でしたから、世の中というのは本当にわからないものです。

何か大きな事件や悲劇が起きたときに、原因を特定して安心したいのは、誰しもです。あいつが悪い、\*の陰謀だとシンプルに理由を説明できれば、気持ちはスッキリします。が、それでも、肝心の問題はなにも解決されては行きません。わたしの商売も同じです。ガスの顧客が増えないのは人口減のせい、消費量が減っていくのはコンビニと電子レンジのせいと決めつければ、一時は気持ちもスッキリします。でもマルセイの顧客が増えていないとすれば、その理由は絶対にひとつではありません。要因はたくさんあります。それを見つけて良くしていくしかありません。気持ちのスッキリより会社が良くなるほうが社長としては断然イイです。というわけで、スッキリしない社長ですが今年もマルセイをよろしくお願ひいたします。

社長 小山直

おおさわ ただし

## 大澤紘さん、ありがとうございました

1月8日、一緒に仕事をして来た大澤紘さんが亡くなりました。享年68歳。肝臓ガンでした。心やさしい「チームマルセイ」の最年長スタッフは、暮らしのサポート事業をはじめ、社長のサポート、会長と一緒に草刈り、会社の環境整備その他、そして、マルセイニュースのポスティングも担当してくれていました。

「そろそろ、若い人に代わってもらうかな」と体調不良を訴えたのが昨年の秋。あまりにも急な訃報に、まだ実感が持てずにいる私たちです。

宣告された余命を社長に打ち明けてくれた昨年の大みそか。「楽しかったなあ」「ありがとう」と、互いにお別れの言葉も交わしていました。

大澤さん、一緒に楽しく働いた思い出がいっぱいですね。新しい倉庫の中で、大澤さんにも仕事をして欲しかったなあ。たくさん助けていただきました。ありがとうございます。



## 「楽しかったなあ」と笑ってくれた思い出の仕事

本名は「紘(ただし)さん」。でも、みんなからも私たちが「じゅんさん」と呼んでいました。さようなら、じゅんさん。さみしくなります。



「こんなに早いとは思わなかったなあ」。本人も驚く早さで体調が悪化していた中、「終活だ」と出来る限り身辺整理をして逝った大澤さんでした。



新春恒例 マルセイお年玉クロスワードパズル

「お年玉灯油」プレゼント

★ 灯油70ℓが2名様に当たります！



1ア	B	イ		2ウ			エ
		3D					
4	オ					5カ	
						6	A
7キ		ク	ケ		コG		
		8			9	シ	
10C	サ		11F				
12		E			13		

簡単？ おまけの…親子当てクイズ



答 マルセイが新築した…

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---



3組の親子の組み合わせは…

マックス	ぱわふる	おかん
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

● ヨコのカギ

- 1、昨年、浦河港に大量に押し寄せた魚は！
- 2、浦河で体験できます。馬に乗りませんか？
- 3、世界遺産登録。群馬県にある製糸工場は
- 4、マルセイの新人！気田くんのニックネームは○○○ちゃん
- 5、浦河にオープンした新刊書店。その名も○○晝書房！
- 6、乗り物に乗らないで行くこと
- 7、安倍首相が打ち出した経済政策
- 8、押しつける力のこと。○○力
- 9、時間、時刻を英語で
- 10、家族が普段いる部屋
- 11、こどもたちに最近大人気の妖怪○○○○
- 12、京都市東山区五条～七条の間の地名
- 13、痛風が悪化！○○○体の摂取を制限しましょう～

● タテのカギ

- ア、“よこはまたそがれ”を歌う演歌歌手○○○ひろし  
 イ、死にもものぐるいで闘うこと  
 ウ、お隣様似町にある自然公園は、アポイ岳○○○○○  
 エ、野球で本塁をねらう走者を刺す為に野手が本塁へ送球すること  
 オ、夜に仕事をする事。「母さんが○○○をして、手袋…」  
 カ、自分で数字を選ぶ宝くじ ○○6や○○7  
 キ、ノーベル物理学賞○○○○LED  
 ク、旧約聖書「創世記」に登場。○○の方舟  
 ケ、お笑い芸人コンビ「オアシズ」のひとり、○○○○靖子  
 コ、○○○○細胞は、あるか？なかったのか？  
 サ、舞台○○、銀○○、暗○○に共通する言葉は？  
 シ、尺貫法の距離の単位。○○○は36町で3,927キロ

● 応募方法

はがき・ファックス・メール いずれかでご応募ください。

- \*こたえ
- \*郵便番号・住所
- \*お名前
- \*電話番号

マルセイ及びマルセイ  
 ニュースへのご意見・  
 ご感想などをお書きい  
 ただけると嬉しいです

〒057-0005  
 浦河町東町  
 うしお一丁目9-3  
 (株)マルセイ

● 締切り 2月10日(火) ● 抽選日 2月12日(木)

- \*はがきは、当日消印有効 \*ファックス・メールは10日必着
- \*注意 電話番号とファックス番号は違います。



◆ marusei.gs@gmail.com  
 ◆ ファックス 22-5789

住所・氏名・電話番号の記入はお忘れなく。



- ★抽選で3名の方に「お年玉灯油」70ℓが当たります。(当選者のお名前は、次号の123号で発表させていただきます！)
- ★おまけの親子当てクイズにご応募された方には、抽選で5名様を選び、心ばかりの粗品をお届けさせていただきます。



# 奮闘している若者たちが、活かされる町でありますように！



4人目の浦河町地域おこし協力隊が着任しました。地域活性化活動の応援制度である“地域おこし協力隊”を活用してから早くも3年目。「最近ようやくスタート地点に立てた感じで、これからかな…」と話している武藤さんと中川さんの二人ですが、年度で最長3年という協力隊任期の終了も視野に入ってきました。できればこの先も、浦河町に残って欲しい彼らの今後の生活基盤を作ることも含めて、今年は大切な年になります。

## 地域おこし協力隊が4名に！

最初の“地域おこし協力隊”、武藤拓也さんを迎え入れたのが2013年7月末。次いで9月末には中川貢さんが着任。さらに、昨年8月には加藤エミさん、そして、今年早々4人目の五十嵐早矢加さんが加わりました。

浦河町の地域おこし協力隊のミッション(目的・使命)のひとつに、『移住促進』というテーマがあります。協力隊が取り組んで来た試みを通じて新たなスタイルの移住促進をはじめ、浦河の新しい可能性が見出され始めているよ

## 「浦河にあること」を目的にした本屋の誕生

『平成エルム塾』と名付けて主催した講演会の開催。「人で賑わう『場』のつくり方」と題した講演会では、講師のお話に目を輝かせながら聴き入っていた若いお母さんたちの姿が印象的でした。その時の学びは早速、『うららべつふえすた』や『手作りマーケット』などの場に活かされていたようですね。

「そうだ、本屋のオヤジを呼ぼう！」と題した昨年2月の講演会には、町外からも含めて70名の参加がありました。「久住社長、浦河に本屋を作るって可能ですか？」と投げた玉に、「こうすればできます！」と本気の直球が投げ返され、その後はご存知

うに思えます。彼らが試み、仕掛けてきた活動を少しだけ振り返ってみたいと思います。

彼らはフェイスブックやブログ、ツイッターといったウェブ上で次々と浦河町のPR情報を発信。その反響を確認しながら、次の取り組みを展開してきました。

外から来た若者の視点とこれまでの経験を活かして、『浦河ウィーク IN 札幌』と題した札幌市でのPRを展開。「最近、何だかあちこちで『浦河』って聞くね…」と反響がありました。

のように昨年の11月、本当に新刊書店『六畳書房』が誕生しました。オープン時から多くのメディアで取り上げられ全国区で注目されています。

小さな町なのに映画館があり、自慢すべき図書館がある。それに加えて、今のような時代状況下において、新たに書店が開業される町だということに驚くようです。大黒座には、はるか遠方からわざわざ映画を見に来る人がいます。今度は六畳書房に本を買いに来る人が現われています。

## 本気の取り組みが必要な「観光」



平田染工場さんでの染め体験

観光にもスポットが当たり始めています。冬季間の体験移住促進にも可能性の扉を開いた「冬のうらかわ旅」から始まり、「うらかわワーク」、「カメラ女子旅」、「浦河で短期集中乗馬レッスン」、「うらたび★グルメサイクリングツアー」と各種体験型のツアーを試行してきました。今月も昨年以上に浦河の魅力満載の体験を盛り込んだ、「冬のうらかわ旅」ツアーに、8名のお客様を迎えていました。これまでのツアー参加者の中には、その後すぐに体験移住を申し込む人、本気で農業就労の移住を考え、すでに行動に移している人も現れています。

他にも、昨年2名のライターが体験した「テレワーク」事業には、今年9名が参加します。2月から3月の期間中は各自、自分の仕事を持ち込んで浦河に滞在します。デザイナー、経営者、映像製作業、ライター、漫画家と業種も様々。シンガポールから来る人もいます。プロジェクトに応じて、協力し合いながら活動している浦河町地域おこし協力隊が4名になりました。休日も返上して活動している彼らを、今年も応援したいです。

マックス



## 浦河町地域おこし協力隊 五十嵐早矢加さん

# ご主人と二人で浦河に移住しました

実は、9月末には採用が決定していた4人目の協力隊の五十嵐さん。ご主人と一緒に浦河へ本格移住してくる準備に少々時間を要していました。今までのお仕事を12月31日に終えて、お正月中に引っ越してきたそうです。ようこそ浦河町へ。これからよろしくお願ひします！お二人が出会ったキルギス共和国にはオオカミがいたそうですが、浦河には熊もいますよ～。



五十嵐 早矢加さん、大介さんご夫妻

将来的には、野菜を育て、家畜を飼い、可能な限り自給自足の生活をし、その食材を使つて体に良いものを食していただけるようなカフェバーをしたいと思つています。

今回主人と共に夫婦で浦河に引っ越してきました。私達はこのキルギス共和国で出会い、その場所での自給自足の生活、温かい人のつながり、自然に囲まれた心豊かな生活が大好きでした。そんな生活を浦河町で実現したいと思ひ移住を決心しました。

1月6日付で浦河町地域おこし協力隊として着任した、五十嵐早矢加です。奈良県出身で、学生時代は兵庫県、社会人になり東京と千葉に住みましました。前職では、製造メーカーで海外販売管理（東南アジア担当）、海外生産工場管理に携わり、その間2年間休暇制度を利用して、JICA青年海外協力隊としてキルギス共和国にて、一村一品運動を展開しました。

## 浦河で実現したい夢があります



早速、異業種の人が集まる地域デザインカフェに参加。先輩協力隊の加藤エミさんが作ったきのこのポタージュをサーブするお手伝い。



役場でのミーティング風景です。役場と連携を計りながら協力隊を中間支援している(株)ユートラインの村下さんも一緒にいます。

更に、多くの方にこの浦河町の魅力に浸りながらゆったりとした時間を過ごして頂けるような宿をしたいと考えています。そしてその場所が、地域の方が集まり、ワイワイいろんな話が出る場所になればいいなと思つています。これから、その可能性も探つて準備していきたいと思つておりますので、宜しくお願ひ致します。

その他、自分の視点で浦河町の新たな魅力を発見、新しい魅力を作り出すことで移住促進に貢献していきたいと思つています。やれることはなんでもどんどんやつていきたいと思つておりますので、皆様どうぞ宜しくお願ひ致します。

趣味は音楽（ドラム）とスポーツ（トライアスロンにはまり中）など、色々やりたがる性格ですので、何か面白いイベントの際は、お声かけお願ひ致します。

五十嵐 早矢加



## うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会 地域デザインカフェ Vol.25

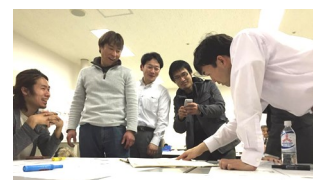
### 「新春福わらい！笑ってはいけない・浦河百話2015！」

1月8日(木) 総合文化会館 19:00～21:00 参加費500円

準備段階で内容変更～！「食つな」メンバーの石黒さんがコーディネーターとなり、みんなで浦河の地図を完成させるパズルからスタート。今年最初の地域デザインカフェは、浦河の今と昔の振り返りをテーマに15名の参加者みんなで話すワークショップ形式で行いました。



30代～40代男性の参加者が多かったです



参加者それぞれの転機……例えば外から浦河に来たきっかけ、あるいは浦河に生まれたその時代の様子などを付箋で貼りだしました。外から来た「風の人」が浦河に感じた魅力や、浦河に生まれた「土の人」が知る浦河の昔など、お互いに興味が掻き立てられる話題で盛り上がりました。

この日、最年長の参加者は『お料理松山の松山さん。松山さんの先代が旅館を営み始めた時代の話や、繁華街の移り変わりの様子など、私たちの知らない浦河の変遷を語ってくださいました。

## 浦河の今と昔 町の歴史を振り返る

町内に長くお住まいの方から石黒さんが譲り受けた浦河町の昔の地図にも、みんな興味津々。持ち主の手で戦後すぐの町の様子が書きこまれた地図には、射撃場や兵舎、競馬場など今からは想像もつかない町の姿が広がっていました。

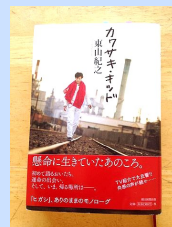
住んでいても、なかなか知る機会のない自分の町の歴史を振り返りから始まったデザインカフェ。今年もこの場を毎月続けていく中で、ここに集う人との様々な出会いが生まれる場を一緒に創つていきたいと思ひます。どうぞお気軽にご参加ください！

うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会

村下宏宏



最近読んだ本の中より…



# 『カワサキ・キッド』

東山紀之著 (1966)

発行 朝日新聞出版社

28歳のとき「夜に抱かれて」というドラマに出た。冒頭が、借金取りが床に包丁を突き立てる前で、僕が土下座するといふものだった。それを見た母から電話が来た。「うちのこと、話したの?」「話すわけないだろ」「我が家で繰り広げられていたのと同じ光景だった。母はしばらくして、今度は父に土下座した。「お願いですから、別れてください。」「幼子二人を連れて、母は家を出た(本文より)」

## そうか。ここが、ヒガシのホームなんだ

一昨年のことになりますが、NHKドラマ『七つの会議』が面白いと本誌に書いたことがあります。平凡なサラリーマンが、会社ぐるみの隠蔽工作に巻き込まれていくというお話なのですが、吉田鋼太郎や石橋凌という強面の役者の中にあつても、主役の東山紀之は喰われることなく演じていて、わたしは初めてヒガシについていい役者なんだな、と思ったものでした。本編はもちろんなのですが、配役やスタッフ名が流れるエンド・ロールがすごく印象的で、好きでした。たぶんビルの屋上だったと思うのですが、隠蔽工作に荷担することを迫られた主人公が何を思うのか空を見上げたはずむ光景で、なんということはないのですが好きな演出でした。



本書が手元に届いて中に収められている写真をみるとき、あつおなじみだ、と思いましたが、かつて住んでいた川崎市市営住宅の前、よく遊んだ操車場の跡地、コンビナート近くの鉄道、小学2年生まで暮らしたコリアン・タウン等々で撮られた風景の中に、ジャンプのアイドルである東山紀之が何の違和感もなく溶け込んでいます。しかもヒガシは真っ白の上下に真っ赤なストロールを巻いているにもかかわらず、ここがヒガシのホームなんだ。故郷なんだ。そう思いました。

川崎市のスーブランドが密集する界隈で育ち、祖父も父も大酒飲みで酒乱。養父も同じで、殴られることが恐怖でした。そんな幼少期でしたが、近所の朝鮮人のおばちゃんがいつも自分と妹によくしてくれたといひます。

「幼い僕は当時、その一家が朝鮮人であることも、在日の人たちが置かれた状況も知らずに、無邪気に、まるで家族のようにかわいがってもらった。今思うと、遊んでもらうわ、食べさせてもらおうわ、なんと親切にしていたのかと感謝の気持ちで一杯になる。」(本文より)

## 可愛がられるには理由がある

森光子をはじめ森繁久弥、松方弘樹、藤田まこと、若山富三郎などそうそうたる役者たちにヒガシは可愛がられてきました。本書を読むと、きつと彼の人柄によるんだろうなやつぱり、と思えます。真面目でひたむき。そして人の痛みが分かる。デビュー時の握手会で、手のひらの無い人と握手をしたとき思わず感觸の違いに「ああっ」と声をあげてしまったといひます。なんて失礼なことをしたんだらうと三十年たった今でも悔やんでいる。厳しい環境に育っても、そういう優しきがある。ヒガシ、好きになっちゃいました。

社長



## 訪問したお客様のお宅で出会いました!



昨年12月、久しぶりにお客様を訪問させていただいたマックスが出会った、ワクワクしたものの中からご紹介させていただきます。

こちらは、山本さんのお宅の冷蔵庫に貼られていた息子さんの絵です。

今にも絵の中から光の玉が飛び出して来そう! 力強くて、パワーをもらえそうな感じがして嬉しくなりました。どうです?

お客様のお宅を訪問すると、子どもやお孫さんの絵や習字が飾られていることがあります。最近、そういう人の手のぬくもりを感じるものと出会うと何だかとてもホッとします。年のせいでしょうかね。

もうひとつは、水戸さんの玄関で出会った手作りの布カバーです。18リットの灯油ポリタンクに掛けられていたのですが、ステキだなあーと思いお願いして写真を取らせてもらいました。持ち手に止めつけられていたのは、布ゴム製の髪しばり。なるほどー。このアイデア、真似してみたいですね♪生活の中のこういう工夫ができる人に憧れます。

さてさて、今年は積極的にお客様のお宅へ足を運ばせていただきたいと思います。マックスが「こんにちは〜!」とお伺いさせていただきます。その際は、よろしくお願ひいたします。







あつという間にできて、とてもおいしいです！

## ガスを使っておいしくクッキング



# アサリのスープカレー

ばわふるが選んだメニューは“もこみち流のアサリスープカレー”。作り始めた直後、突然、「あっ！すごく簡単なレシピだから、もこみちはともひろが作ろう！」と、急ぎよ担当したスープカレーは、まさかの大ヒット！！



### ●材料(4人分)

玉ねぎ 1/2個  
鶏ひき肉 50g  
アサリ(砂出しする) 20個



サラダ油 大さじ1  
青ねぎ 少々

### ★合わせ調味料

白ワイン(お酒でも良い) 大さじ2  
トマト水煮 100g  
カレー粉 大さじ1  
ターメリック 小さじ1/3  
ガラムマサラ 小さじ1/3  
コンソメスープ 500ml  
塩・こしょう 各少々

### ●作り方 (参考レシピ もこみち流キッチン)

- 1、フライパンにサラダ油を軽く熱し、薄切りにした玉ねぎをしんなりするまで炒め、鶏挽き肉を入れてバラバラになるまで炒め、アサリを加える。
- 3、2に、合わせ調味料★を加え、アサリの口が開くまで煮て盛り付ける。(ガラムマサラ、ターメリックがなくても、お家にあるカレールーでOK！)
- 4、最後に青ねぎの小口切りを散らしてでき上がり



いつか

## えっ！ともひろのスープカレーがまさかのオール★★★！



「細く映るように撮ってねー」「若く撮ってね」と、次々に無理な注文あり。



「そのうち家でもやります…」って、ほんとですよ、村下社長^^

下準備も済んで、あとは炒めて煮込むだけ。「簡単だからもこみちレシピ、ともひろにやってもらおう！」と、いきなり担当を振られた村下社長。おばちゃんたちの勢いには勝てませんね。アサリと鶏肉の出汁が効いて美味しいこのスープカレー、聞き慣れないスパイスが無くてもきっと大丈夫。自宅にあるカレールーを代用して、みなさんもぜひお試しください♪

試食した人	今日の料理は★いくつ？(最高得点 ★3個)
小山社長 (3.0)	★★★ お母さん、いちばんびっくりするだろうなあー
キョウちゃん (3.0)	★★★★ 激うまっ！次は自分の番か？
マックス (3.0)	★★★ 若社長、おばちゃんたちにいじられるね〜。
ばわふる (3.0)	★★★ ともひろのデビュー戦、星みつつ！うまい！
おかん (3.0)	★★★ マルセイのもこみち、GOOD！
さっちゃん (3.0)	★★★ “ともひろ”と一緒にデビュー！よろしく^^
村下知宏社長 (3.0)	★★★ そのうち、家でもやります…

この日のサラダ担当は、以前からマルセイのクリーンレディとしても活躍してくれている、さっちゃんです。今回はじめて、クッキングコーナーへの“ともひろデビュー”と一緒にマルセイニュースの誌面デビューをOKしてくれました。片付け仕事の後の楽しいランチタイム、おいしかったね^^

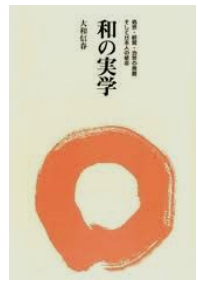






## 社長のちよつと長コラム

### 「年頭に思うこと」



ここに一冊の本があります。その名も『和の実学』といいます。著者は大和信春さん。マス・メディアで取

り上げられることはほとんどないので、無名に近い方です。『虚名』が無いというほうが、正しいかもしれません。吉田松陰と同じ山口県萩市の出身です。

若いころに乱読して忘れがたかった本は別として、40才を過ぎてから読んだ本で繰り返し読んだ本を三冊挙げよと訊かれたら、すぐに答えられます。この『和の実学』『心の自立』『企業理念』で三冊とも大和信春氏の本です。わたしのような商いの才に恵まれない者が、曲がりなりにも会社をやつてこられたのは、これらの本のおかげです。ちなみに、会社を続ける上で役に立った四冊目の本をあげると言われたら、これも即答できます。神田昌典氏の『あなたの会社が90日で儲かる！』です。

わたしは争いごとが苦手な性分です。腕力がないので喧嘩は弱いです。論争は大の苦手です。電車が混んでいたら、無理に乗らずに次の電車に乗るほうです。子供たちの運動会の父兄の場所取り、毎年辛かったなあ。そういう性分でも会社を経営していかなければなりません。競争そのものが苦手な人間にも社長は務まるのかという悩みを、一掃してくれたのが『和の実学』でした。わたしはこの本とともに会社を経営してきました。

この本で「和力」という考えを知ったときの驚きは、いまでも忘れられません。人と戦うことの得手じゃないわたしは、いわば手元の「武力」がとても貧弱なのです。新聞紙を丸めてつくった剣ほどの威力も持っていない。真剣で一太刀浴びたら血だるまです。ところがこの本には「和力」というのは「武力」と同じように、現実を動かすことができる力であつて無力とはちがう、それどころか本当のところは「和力」のほうが「武力」よりじつさいに役に立つ力なのである、と書かれていました。本当におどろきました。以来、わたしは「戦わない経営」に挑戦してみようと心に決めて社長業をやつてきました。

和力という力は本当にありました。ささやかではあります。この力のおかげで会社は少しずつ良くなりました。マルセイは小さな会社ですから、大きな会社に新聞紙の刀で戦いを挑んでいたらまづころ八つ裂きにされて絶命していたかもしれません。よかつた、非力で。

他者の脅威とならず、必要となれ。これが、和力のエッセンス（本質）です。今年も地域に必要とされる会社に近づけるよう励みますので、マルセイをよろしくお願い申し上げます。



1月11日の祝日を利用して、長時間のSB研（スモールビジネス研究会）を開催しました。いずれ自分も経営者になることを目指している、移住して来たばかりの五十嵐さんご夫妻も加わりました。各自、これから一年間の計画を立てるために熟考する時間を持ちましたが、ここでも『和の実学』を紹介させていただきました。

## さのばわふる日記

2015年、今年も元気にスタートしました。さてさて、今年はどうな年になるのでしょうか。いつ何が起こるか分からない、一日一日を大切に過ごしたいと思います。



一番の年長さんだった大澤さんが私達と一緒に働いてくれた事を思い出しながら、新年号の日記を書きます。相変わらずおバカだなあと読んで下さいね。糺さん。

新年おバカ日記、ばわふるの男前シリーズ。一人でお掛けの事が多い私、でも、食事やお茶をするのに一人で飲食店に入ることが出来ませんでした。

それが、お茶を飲みにかフェくらいは一人でも行けるようになりましたが、食事はコンビで済ませていました。ところがなんと、「一人回転寿司」にデビューしました。いっよ！男前！

一度行つてしまつたら二回目以降はへっちゃらとなり、大好きなお寿司を一人で食す楽しさを覚えてしまいました。更にこの間は、ラーメン屋さんもクリアしましたよ。あとは大好きな焼肉ですが、さすがに一人焼肉はチャレンジ出来ません。一人居酒屋もまだ無理だなあ。

あ、新年からこんなくたらない内容でごめんなさい。でも、一人回転寿司が出来るようになったのが嬉しい私でした。



今年も皆様、マルセイをご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。『チームマルセイ』一丸となり、皆様のお役に立てる仕事をさせていただきますと思います。

発行 株式会社マルセイ  
灯油・プロパンガス販売・機器修理  
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業



編集 おはなし家（マックス） 発行部数 3400部  
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com  
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してみてください  
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3  
TEL 0146-22-5123 FAX 0146-22-5789

冬季期間（11月～3月）定休日：日曜・祝祭日 営業時間 8:30～6:00土曜3:00